

◆調査当日の流れ

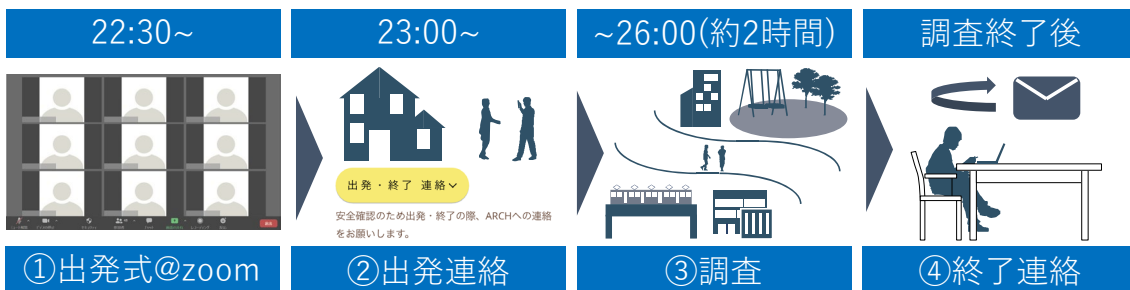
本調査は、各参加者が自分の自宅周辺や地元駅周辺を歩くことから、それぞれの地元で安全に調査を実施してもらうため、調査実施の注意点を解説した講習ビデオを事前に閲覧してもらいました。

また、全国各地の参加者を繋ぐため、調査実施当日の夜には ZOOM を用いた出発式を開催し、最終的な注意事項を伝えるとともに、一緒に調査を行う参加者の存在を共有しました。

調査当日の流れは、以下の通りです。

<当日の流れ>

1. 22 時半から ZOOM で出発式を開催
2. 23 時以降、自宅を出発し地元駅周辺や近隣の公園等を歩く（2 時間程度）
3. 野宿をしている人を見かけたら、場所/野宿の状態/人数/様子などを記録
4. 帰宅後に歩いたルート、調査結果、自分のまちを見守った感想をパソコンで入力し、インターネットを通じて提出



◆参加者属性等に関する集計結果

参加者の職業では学生が 42%と最も多く、次いで民間企業 27%となりました。参加者の年齢では、学生が多かったこともあり 47%が 18 歳～29 歳でした。これらは、過去ストカンと同様の傾向でした。

一方、過去ストカンの参加経験の有無では参加経験有りの方が約 7 割を占め、これまでのストカン（参加経験有りの方は 2～3 割）とは異なる傾向となりました。これは、本調査の募集を過去ストカン経験者へのメール連絡で行ったことが理由として考えられます。

参加者を含めた調査人数（何人で調査を実施したか）を聞いたところ、2 人が 44%と最も多く、次いで 3 人が 22%となりました。一方で、1 人で調査した人も 17%いました。調査を一緒に行った同伴者との関係では、回答のあった 35 名のうち 12 名が友人、8 名が家族でした。家族同伴の調査は、従来のストカンではあまりなかったことであり、地元を回る調査方法ならではの現象だといえます。

